

科学技術賞 候補者・業績一覧表

番号	部門	分野	氏名	ふりがな	生年月日	年齢	性別	所属・役職	本表彰の推薦・受賞歴	住所	業績名	業績のポイント	推薦機関
			(筆頭者) 文科 太郎	もんか たろう	1975/1/25	49	男	〇〇大学 大学院〇〇 研究科 教授	R02研究推薦 H30若手受賞	東京都		(1) 候補案件の成果の内容 (2) 候補案件の特徴、従来技術との相違等 (3) 候補案件の成果による社会的効果・実施効果 ・印刷した際に枠内に文字が収まっていることを確認すること。 ・(1)～(3)の各項目は削除せず、一段下の段落から書き始めること。 ※理解増進部門の場合は(2)を削除し、(2)を(3)とすること。	国立大学法人 〇〇大学
		文科 花子	もんか はなこ	1969/6/30	54	女	(独)〇〇研究機構 〇 〇研究センター 〇〇 グループリーダー	無	広島県				
	研究	F	研究 二郎	けんきゅう じろう	1980/3/1	44	男	〇〇(株) 〇〇研究所 主任	無	山形県	〇〇〇と〇〇〇〇に 関する〇〇〇〇〇〇に 資する〇〇〇〇〇の 研究		

- 【作成・提出に当たっての注意】**
 ○1つの業績につき、1ファイル作成すること。
 ○「書式設定」（セルの幅、高さ、フォントサイズ等）は絶対に変更しないこと。
 ○「氏名」「年齢」「性別」「所属・役職」「業績名」の記載が、候補調査書の記載と一致していることを必ず確認すること。

- 【記入上の注意】**
 ○各欄の記載は、候補調査書の記載内容に合わせて作成すること。
 ○A列の「番号」欄は、入力しないこと。
 ○B列の「部門」欄は、候補調査書に記載した部門をプルダウンより選択すること。
 ○C列の「分野」欄は、候補案件の成果について関係する分野を、次の中からプルダウンにより、最も近い分野を選択すること。
 [分野] A(数学・物理)、B(工学)、C(材料・化学)、D(生命・医学・農学)、E(情報)、F(科学技術政策、人文・社会科学)
 ※技術的要素がある業績は、原則として、F分野(科学技術政策、人文・社会科学)以外の分野を選択すること。
 ・開発部門及び技術部門については、F分野を選択しないこと。
 ・科学技術政策は、政策研究やアウトリーチ活動など、技術的要素がない場合に選択すること。
 ・例えば、国研が行う研究である等の理由で「科学技術政策」を選択するのではなく、それらに技術的要素がある業績はA～Eを選択すること。
 ○D列の「氏名」欄は、姓と名の間に全角1マス空けること。
 ○E列の「ふりがな」欄は、ひらがなで入力し、姓と名の間に全角1マス空けること。
 ○F列の「生年月日」欄は、半角で「〇〇〇〇/〇〇/〇〇」と記入すること。(例) 2000/1/1
 ○G列の「年齢」欄は、自動入力されるため、入力不要。
 ○H列の「性別」欄は、プルダウンより選択すること。
 ○I列の「所属・役職」欄は、候補調査書に記載したすべての所属・役職を記載すること
 ○J列の「本表彰の推薦・受賞歴」欄は、科学技術分野の文部科学大臣表彰の推薦・受賞歴を記載すること。なお、今回の令和6年度表彰に関する推薦は記入しないこと。
 (例) R02研究推薦、H30若手受賞
 ○K列の「住所」欄は、都道府県名のみ記載すること。
 ○L列の「業績名」欄は、業績名記載ルール(28文字以内。句読点等使用禁止等)を満たしていない場合、セルが赤くなるので修正すること。
 ・修正すべき箇所は、O列「判定」欄、P列「修正事由」欄を参照すること(O列が×の場合、要件を満たしていない。)
 ○M列の「業績のポイント」欄の記入に当たっては、以下に留意すること。
 ・候補調査書に記載の「業績の概要」の記載内容を簡潔に記載すること。
 ・候補者の氏名は記載しないこと。「候補者は～を開発した」等の表現で統一すること。
 ○N列の「推薦機関名」欄は、〇〇省、〇〇県、国立大学法人〇〇大学、〇〇法人〇〇学会などのように、法人名を省略せずに記載すること。